作成日　2009 年　3 月　2 日
改訂日　2022 年　3 月　9 日

安全データシート

１．化学品及び会社情報

化学品の名称　：　水酸化カリウム ペレット 25g
カタログ No　：　31425
品目コード　：　HACH3957
供給者の会社名称，住所及び電話番号
東亜ディーケーケー株式会社
東京都新宿区高田馬場 1-29-10
担当部門　：　水質技術部　HACH 技術課
04-2957-6152
ＦＡＸ番号　：　04-2957-9906

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

健康有害性
急性毒性（経口）区分 3
皮膚腐食性／刺激性 区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）区分 1（呼吸器）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）区分 1（呼吸器）

（上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。）

ＧＨＳラベル要素

絵表示

注意喚起語　危険

危険有害性情報
飲み込むと有毒
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
呼吸器の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害

注意書き

安全対策
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

	直ちに医師に連絡すること。 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。 特別な処置が必要である。（詳細は、SDS4 項：応急措置を参照のこと） 口をすすぐこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
保管	施錠して保管すること。
廃棄	地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質

化学名又は一般名　水酸化カリウム

含有量	100.0%
化学式又は構造式	KOH
官報公示整理番号	
化審法	1-369
安衛法	―
CAS No.	1310-58-3

４．応急措置

吸入した場合	:	空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が停止した場合、人工呼吸を行い、直ちに医師の診断、手当てを受けること。飲み込んだり吸入した場合は、口対口の人工呼吸は行わずに、バッグバルブマスク等の適切な医療用具で人工呼吸を行うこと。呼吸が困難な場合は、訓練を受けた者が酸素吸入を行うこと。遅発性肺水腫を発症する恐れがある。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	:	汚染された衣類や靴はすべて脱ぎ、直ちに多量の水と石鹸で良く洗うこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	:	直ちに大量の水で、まぶたの下まで 15 分間以上良く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼を大きく見開いて洗浄すること。患部をこすらないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	:	水で口をすすいだ後、大量の水を飲ませること。意識がない場合は口から何も与えないこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	:	灼熱感、発赤、失明の恐れあり、せき、喘息
医師に対する特別な注意事項	:	本製品は腐食性物質である。胃洗浄や催吐はしないこと。胃又は食道穿孔の可能性を診ること。解毒剤は与えないこと。声門浮腫による窒息の恐れあり。また、著しい血圧低下がおこり、湿性ラ音、泡状の痰、高脈圧を発症する恐れがある。

５．火災時の措置

適切な消火剤	:	周囲の火災状況及び環境に応じて、適切な消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	:	データなし
火災時の特有の危険有害性	:	眼、皮膚及び粘膜の火傷を引き起こすことがある。熱分解により刺激性のガスや蒸気を発生することがある。
消火を行う者の保護	:	消火作業の際は、自給式呼吸器および防護服を着用する。個人用保護具を着用すること。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置	: 眼、皮膚、衣類との接触を避けること。適切な換気を行うこと。腐食性物質のため注意を払うこと。指定された個人用保護具を使用すること。漏出区域から離れた風上の安全な場所に退避させること。
環境に対する注意事項	: 安全に対処できるならば漏えいを止めること。環境への流出を防ぐこと。土壌や下層土に流出させないこと。漏出物を排水系に流出させないこと。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 安全に対処できるならば漏えいを止めること。漏出物を適切なラベルの貼付された容器に集めること。
二次災害の防止策	: 漏出物と漏出場所は環境規制に従い浄化すること。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い	: 本製品を使用する際は、一般的な労働安全衛生上の規則に従うこと。眼、皮膚、衣類との接触を避けること。換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。製品を使用する際は、密閉された装置、または適切な排気装置を使用すること。この製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。汚染された衣類はすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
技術的対策	: データなし
安全取扱注意事項	: データなし
接触回避	: データなし
保管	: 容器は密栓し、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。湿気から保護すること。施錠して保管すること。子供の手の届かないところに保管すること。他の物質から離して保管すること。
安全な保管条件	: データなし
安全な容器包装材料	: データなし

８．ばく露防止及び保護措置

許容濃度 :
OSHA PEL;
水酸化カリウム:(vacated) Ceiling 2mg/m^3
ACGIH TLV;
水酸化カリウム:Ceiling 2mg/m^3

設備対策	: 安全シャワー、洗眼設備、換気設備
保護具	
呼吸用保護具	: 適切な換気
手の保護具	: 保護手袋、不浸透性手袋
眼、顔面の保護具	: ゴーグル型保護眼鏡、保護面
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣（長袖）、耐薬品性白衣
一般的な衛生上の注意事項	: 適切な保護具を着用すること。この製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。装置や作業場、作業服は定期的に清掃すること。眼、皮膚、衣類への接触を避けること。汚染された衣類や手袋などをすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をし、内側までよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。作業を中断する場合や使用後は直ちに手をよく洗うこと。
環境ばく露対策	: 下水系、地面、及びあらゆる水域への流出を防ぐこと。大量に漏出した場合は地方自治体へ通知のこと。

９．物理的及び化学的性質

物理状態	:	固体（ペレット）
色	:	白色
臭い	:	無臭
分子量	:	56.1g/mole
融点／凝固点	:	360℃; 680℉
沸点又は初留点及び沸騰範囲	:	1320℃; 2408℉
可燃性	:	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	:	データなし
引火点	:	該当せず
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし
ｐＨ	:	13.5（1%溶液）
動粘性率	:	該当せず
溶解度	:	水：完全に溶解する（1130000mg/L, 20℃; 68℉） エチルアルコール：溶解する（>1000mg/L, 25℃; 77℉） グリセリン：溶解する（>1000mg/L, 25℃; 77℉） 酸：激しく反応する（データなし, 20℃; 68℉）
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	:	log K_{OW} 約 0
蒸気圧	:	該当せず
密度及び／又は相対密度	:	2.1（水=1、空気=1）
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性	:	データなし

１０．安定性及び反応性

反応性	:	該当せず
化学的安定性	:	適切な条件下にて安定である。
危険有害反応可能性	:	通常使用下にて特になし。
避けるべき条件	:	長期間の空気や湿気へのばく露
混触危険物質	:	酸化剤、酸類、塩基類
危険有害な分解生成物	:	熱分解により刺激性で有毒性のガスや蒸気を発生することがある。

１１．有害性情報

急性毒性（経口）	:	急性毒性推定値 LD50=273mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	:	混合物の皮膚腐食性／刺激性成分濃度により区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	:	混合物の眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性成分濃度により区分1とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	:	データなし
生殖細胞変異原性	:	データなし
発がん性	:	本製品はACGIH、IARC、NTP、OSHAの発がん性物質リストに記載された成分を含まない。
生殖毒性	:	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	:	混合物の特定標的臓器毒性(単回ばく露)成分濃度により区分1（呼吸器）とした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	:	混合物の特定標的臓器毒性(反復ばく露)成分濃度により区分1（呼吸器）とした。
誤えん有害性	:	データなし

１２．環境影響情報

生態毒性　：　データなし
残留性・分解性　：　データなし
生体蓄積性　：　データなし
土壌中の移動性　：　有機炭素/水分配係数　log K_{OC} 約 0
オゾン層への有害性　：　データなし

１３．廃棄上の注意

化学品，汚染容器及び包装の安全で，かつ，環境上望ましい廃棄，又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物　：　地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器・包装　：　容器は再利用しないこと。

１４．輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報　：　毒物及び劇物取締法に従う。
海上規制情報　：　船舶安全法に従う。
航空規制情報　：　航空法に従う。
国連番号　：　1813
品名（国連輸送名）　：　水酸化カリウム（固体）
国連分類　：　クラス 8（腐食性物質）
容器等級　：　Ⅱ
緊急時応急措置指針番号　：　154
輸送の特定の安全対策及び条約　：　輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行なう。

国際規制

運輸規制情報

Proper Shipping Name　：　Potassium Hydroxide, Solid
Hazard Class　：　8
Subsidiary Risk　：　Not Applicable
ID Number　：　UN1813
Packing Group　：　Ⅱ

航空規制情報

Proper Shipping Name　：　Potassium Hydroxide, Solid
Hazard Class　：　8
Subsidiary Risk　：　Not Applicable
ID Number　：　UN1813
Packing Group　：　Ⅱ

海上規制情報

Proper Shipping Name　：　Potassium Hydroxide, Solid
Hazard Class　：　8
Subsidiary Risk　：　Not Applicable
ID Number　：　UN1813
Packing Group　：　Ⅱ

その他の情報

本製品はケミカル・キットの一部として出荷されることがある。ケミカル・キットは以下のとおり分類される。国連分類：クラス９（その他の危険物質）、国連番号：３３１６

１５．適用法令

化学物質管理促進法（ＰＲＴＲ）	:	該当せず
労働安全衛生法	:	名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第５７条第１項、施行令第１８条第１号、第２号別表第９） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２、施行令第１８条の２第１号、第２号別表第９） 水酸化カリウム（政令番号：316）
毒物及び劇物取締法	:	劇物（法第２条別表第２） 水酸化カリウム
水質汚濁防止法	:	指定物質（法第２条第４項、施行令第３条の３）水酸化カリウム
航空法	:	腐食性物質（施行規則第１９４条危険物告示別表第１）水酸化カリウム（固体）
船舶安全法	:	腐食性物質（危規則第３条危険物告示別表第１）水酸化カリウム（固体）

１６．その他の情報

引用文献等

① Hach Company SDS No.MO0215 (Potassium Hydroxide Pellets)
② 化学物質総合検索システム、(独)製品評価技術基盤機構
③ ezCRIC 日本ケミカルデータベース㈱
④ JIS Z7252-2019 および Z7253-2019

記載内容の取扱い

この安全データシートは各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

その他

ＧＨＳ分類は JIS Z 7252 に基づくものであり、ＨＡＣＨ社のＧＨＳ分類とは異なる場合があります。取扱いの際は、この安全データシートをご参照ください。